科学技術関係大臣会合について

平成 19 年 10 月 9 日
内　　閣　　府

10 月 7 日、国立京都国際会館で、世界 25 ヶ国の科学技術大臣等が参加する「科学技術関係大臣会合」を開催し、地球規模問題の解決に向けた科学技術国際協力の在り方等について意見交換を行った（参加者は別紙１）。

同大臣会合においては、地球規模での課題の解決に向けて科学技術によって何ができるのかという視点から、地球温暖化対策、開発途上国における人材育成、感染症対策等に関する課題の解決に向けた科学技術国際協力の在り方について意見交換を行った結果、参加各国は、以下の内容の認識を共有した。

① 気候変動による温暖化対策、感染症対策等の人類共通の課題を解決する上で科学技術の果たす役割が極めて大きいことを認識し、各国間の研究協力を格段に強化することが重要であること。

② 開発途上国の持続可能な成長を促し、同時に先進国、途上国が協力しつつ、地球規模の課題への取り組みを図るため人材育成への取組みを強化することが重要であること。

（別紙1）

科学技術関係大臣会合出席者（平成19年10月7日（日））

	国　名	氏名	肩書き
【大　臣　等】			
1	アンゴラ	ジョアオン・バチスタ・ンガンダンジナ	科学技術大臣
2	ブルネイ	ダトゥ・ハーシム	開発省次官
3	カナダ	アーサー・J. カーティ	カナダ政府科学顧問
4	中国	万鋼（ワン・ガン）	科学技術部長
5	コートジボワール	イブラヒマ・B. シセ	高等教育科学研究大臣
6	エジプト	ハニー・M. ヒラール	高等教育兼科学研究大臣
7	フランス	ギレス・ブロク	高等教育・研究省　研究・イノベーション局長
8	ドイツ	アネッテ・シャヴァーン	教育研究大臣
9	グアテマラ	マリア・デル・カルメン・アセーニャ・デ・フェンテス	教育大臣
10	日本	岸田　文雄	内閣府特命担当大臣（科学技術政策担当）
11	ラオス	ポウティエム・ピサマイ	内閣府科学技術環境局(STEA）局長
12	ラトビア	マレクス・グルリスケビッツ	教育科学省次官
13	リトアニア	ヴィルギニヤ・ブディエニェ	教育科学省副大臣
14	モザンビーク	ヴェナンシオ・S. マッシングー	科学技術大臣
15	ルーマニア	ミロン	教育・研究・青年省大臣
16	ルワンダ	ロマン・ムレンジ	科学・技術・研究大臣
17	セルビア	アナ・ペシカン	科学大臣
18	シンガポール	チュアン・ポー・リム	科学技術研究庁(A*STAR)長官
19	南アフリカ	モシブディ・マンゲナ	科学技術大臣
20	スリランカ	ティッサ・ヴィタラナ	科学技術大臣
21	スーダン	アブデル・ラーマン・サイード	科学技術大臣
22	タイ	ヨンユット・ユッタウォン	科学技術大臣
23	英国	デェィビッド・キング	政府主席科学顧問兼イノベーション・大学・職業技能省科学庁長官
24	ヴェトナム	ル・ディ・ティエン	科学技術副大臣
25	ジンバブエ	オリビア・N. ムシェナ	科学技術大臣
【専　門　家】			
1	地球温暖化対策	リタ・コーウェル（米）	メリーランド大学・ジョン・ホプキンス大学教授
2	開発途上国における人材育成	ラシッド・ベンモクタール（モロッコ）	アル・アハワイン大学学長
3	感染症対策	リチャード・サイクス（英）	インペリアル・カレッジ・ロンドン学長